

平成24年7月8日

## 父母について

西東京本部 浜田山支部  
安齋 海聖

ぼくは、お母さんのことが、とても大好きです。でも、おこると、とてもこわいです。

ぼくは、3才の時に一どだけ空手の見学に行ったことがあります。ぼくは、とてもむずかしそうだなと思いました。お母さんに空手を、「やる。」と聞かれましたがぼくは、やりませんでした。

ぼくは、五才の時にも空手の見学に行ったことがあります。ぼくは、むずかしそうだけど、やりたいなと思いました。ぼくは、お母さんに「空手をやりたい。」とお母さんに言いました。お母さんは、「ちゃんとやるならいいよ。」と、言ってくれました。ぼくは、その時とてもうれしかったです。それから、空手をはじめたというわけです。

ぼくは、空手をやってきてつらかったこともあったけれど、お母さんといっしょにやっていたからここまでこれたんだと思います。

これからもお母さんといっしょに空手を、がんばっていきたいです。